

事業所名

こころねキッズ

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

2026 年

4 月

1 日

法人（事業所）理念		あなたらしく…わたらしく…								
支援方針		・あなたの気持ちを大切にします ・自分の気持ちを正直に伝えます ・こころね（こころの声）を傾聴します								
営業時間		10 時	0 分	から	19 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	・特性や発達の過程に合わせた細やかな観察を行う。看護師による健康管理。 ・基本的な生活リズムを身につけられるよう支援する。姿勢保持や楽しく食事ができるよう、口腔機能・感覚等に配慮しながら支援する。 ・日常生活や社会生活を営めるよう、特性や発達の過程に合わせ身体・情緒面、社会に適應できる訓練の実施。 ・身の回りの整理整頓、片付け、日常生活動作の基本的スキルを獲得できるように支援する。 ・休校日でも、朝から利用する事で生活リズムを崩さずに過ごせるように支援する。 ・安心・衛生面に配慮しながら食材や調理器具等を使用し、興味・関心を持つことができるように支援する。								
	運動・感覚	・基本的な動作や姿勢保持に対しての筋力の維持・向上を図る。バランス能力、ボディイメージの促進を図る。 ・感覚を刺激する活動の提供。感覚（過敏や鈍麻等）の特性を踏まえた支援の実施。 ・遊びや活動を通して視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分に活用できるよう支援する。 ・動作が困難な場合、様々な補助用具等の補助的手段を活用した支援を行う。 ・小集団または集団活動を通した身体動作や体幹バランスの向上などを促す支援の実施。								
	認知・行動	・感覚を通して得た情報を正しく活用し、認知機能の発達を促す。 ・空間、時間の概念の形成を図る事により、それを認知や行動へ繋げられるよう支援する。数量、形の大きさ、色の違い等の習得の為の支援を行う。 ・周囲の情報から必要な情報を取得し、行動に繋げられるよう支援を行う。（注意機能、選択的機能、注意の分配・持続） ・集団での適切行動への対応支援を行う。 ・認知の特性や偏り等、個人のに配慮しながら、情報処理が適切にできるよう支援を行う。こだわりや偏食に対する支援を行う。								
	言語コミュニケーション	・個別、小集団での機能訓練の実施や、支援員による遊びや活動を通して物事や体験と言葉の意味を結び付け、言語の習得や自発的な発声を促す。 ・相手の意図を理解する力や自分の考えを伝える力を伸ばし言葉で表出する支援を行う。 ・年齢に応じた活動や関わりを通して、言葉遣いや所作を身につけ実践し、コミュニケーション能力を向上できるよう支援を行う。 ・言語以外にもジェスチャーや指差し、サイン等を用いて環境の理解や意思の伝達ができるように支援を行う。								
	人間関係社会性	・他児との交流、法人内の行事に参加し、他者との関係を形成できるように支援を行う。 ・自分自身の性格やタイプ、考え方などを自分の行動の特徴を理解するとともに気持ちのコントロールができるよう支援を行う。 ・集団でのルール等を理解し、周囲との調和を図りながら行動できるように支援を行う。 ・公共交通機関の利用や地域施設の利用などを通し、社会的マナーを身につけられるように支援を行う。 ・社会技能や他者との関わり、ともに生活していく為の支援を行う。高等部卒業に向けた社会的スキルを習得する支援を行う。								
家族支援		子育てに対する不安感などに寄り添い、喜びや苦悩のを受け止めていきます。課題や方向性を一緒に整理し、お子様の特性や個性を受け入れ、ご家庭でも前向きな療育ができるようサポートします。				移行支援		・保育・教育・行政機関との連携や、保護者様の悩みや不安を気軽に相談できる場を提供します。		
地域支援・地域連携		・成功体験を経験し、自尊心や得意な事が伸びるように、一人ひとりのペースやライフステージに合わせて支援し、二次障害を招かぬよう、保護者様・保育・教育機関と連携を図り個々の課題を把握し支援します。				職員の質の向上		職員それぞれの強みを活かし、チーム療育を行います。社内外の研修・勉強会も積極的に行います。		
主な行事等		歓迎会、プール・川活動、夏祭り、敬老会参加、保護者会（作品展）、クリスマス会、成人式（生活介護事業所の参加）、卒業式、季節行事（ソーメン流し、スイカ割り、餅つき等）避難訓練（火災、地震、不審者対応）								